

# 行政制度比較検討報告書

<ダイジェスト版>



平成14年3月



出雲地区市町村合併研究会

# 地 勢 と 動 態

## 地 勢

2市5町は、全体面積 624.0 。東西約0 km 南北約 30 km 各市町間、車 1 時間以内の  
 交流が可能 海山平野川と多様な地勢特性

全体では、宅地(雑種地含む) 8.3%、田・畑 17.0%、山林 47.7%、その他(原野含む)27.0%。山林  
 その他で 75% 以上を占める。

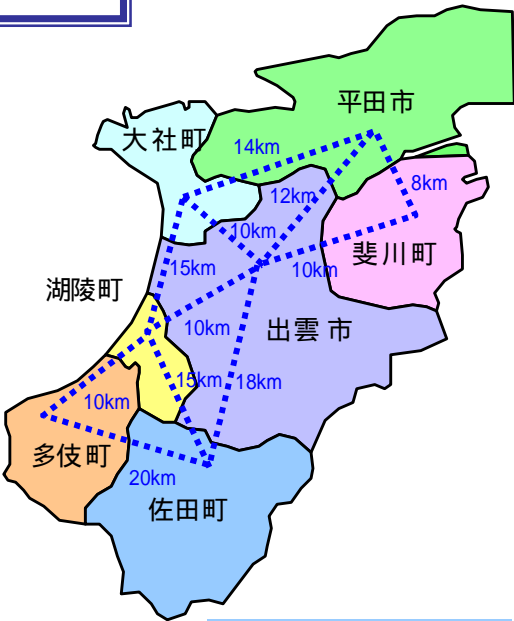
都市計画区域は、佐田町、多伎町を除き設定。用途地域は、出雲市、平田市、斐川町、大社町で  
 指定。

面積		
2市5町	624.0(k㎡)	構成比(%)
出雲市	172.3	27.6
平田市	142.1	22.8
斐川町	80.6	12.9
佐田町	109.9	17.6
多伎町	55.0	8.8
湖陵町	22.3	3.6
大社町	41.8	6.7

大社町	
面積	41.80
可住地面積	8.90
都市計画区域面積用	13.67
途地域面積	2.96
農用地面積	6.00
宅地・雑種地	3.85
山林	16.28
その他	15.62

平田市	
面積	142.05
可住地面積	29.80
都市計画区域面積用	96.40
途地域面積	3.21
農用地面積	24.57
宅地・雑種地	7.68
山林	56.00
その他	52.76

湖陵町	
面積	22.26
可住地面積	5.70
都市計画区域面積用	13.80
途地域面積	0
農用地面積	4.04
宅地・雑種地	7.22
山林	9.26
その他	1.55



斐川町	
面積	80.64
可住地面積	34.90
都市計画区域面積用	66.11
途地域面積	4.66
農用地面積	27.75
宅地・雑種地	9.99
山林	19.50
その他	22.88

出雲市	
面積	172.33
可住地面積	51.20
都市計画区域面積用	91.50
途地域面積	13.88
農用地面積	35.43
宅地・雑種地	18.57
山林	65.41
その他	50.95

多伎町	
面積面積	55.04
可住地面積	4.00
都市計画区域面積用	0
途地域面積	0
農用地面積	2.32
宅地・雑種地	2.69
山林	39.51
その他	9.47

佐田町	
面積	109.91
可住地面積	11.00
都市計画区域面積用	0
途地域面積	0
農用地面積	13.13
宅地・雑種地	1.29
山林	91.85
その他	10.50

注)単位k㎡

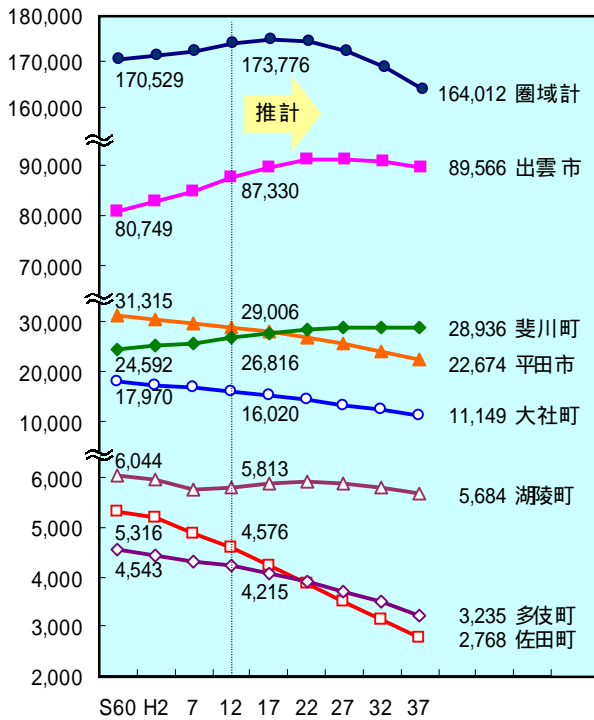
# 人 口

## 人口の推移と将来推計

《人口の減少と少子高齢化の進展が顕著になるものと推計される。》

### 【総人口の推移】

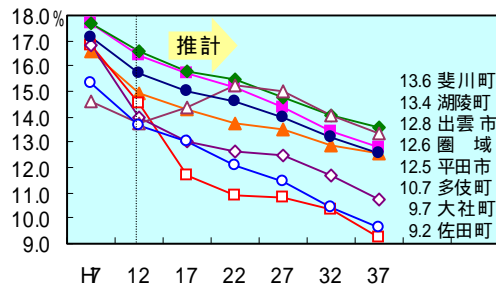
2市5町の人口は、平成17年をピークに減少。平成37年には164千人に。



注)平成17年以降は、H7年(12年)国勢調査人口に基づく推計値

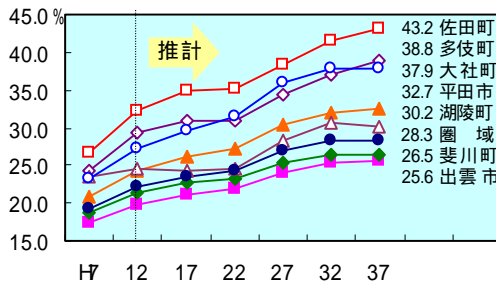
### 【年少人口(率)の推移】

2市5町とも少子化が進行し年少(15歳未満)人口は、12年の約27,300人から37年には約20,600人へ減少。総人口に占める割合も5.7%から12.6%に低下。



### 【老年人口(率)の推移】

2市5町の65歳以上人口は、12年の約38,700人から37年には約46,400人へ増加。総人口に占める割合22.2%から28.3%に上昇。

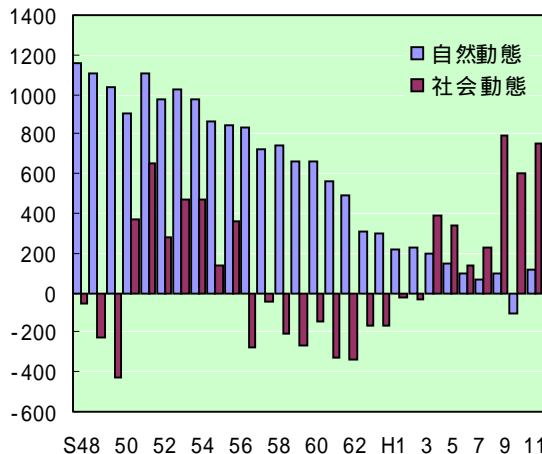


## 人口動態

### 【自然動態と社会動態】

自然動態(出生数と死亡数)は、出雲市、斐川町で出生数が上回り、その他の市町では死亡数が上回り、自然減の傾向。2市5町全体では、わずかな自然動態増の傾向、近年社会動態がかなり伸びてきている。

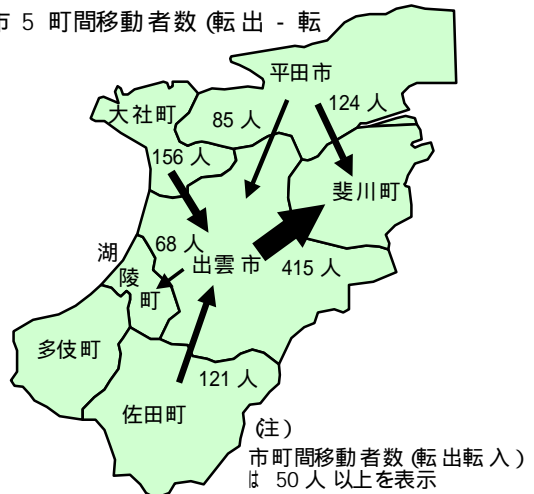
人口動態(昭和48年 - 平成12年)



### 【2市5町間の転出入】

出雲市、平田市から斐川町への移動が顕著。出雲市への移動は、大社町、佐田町、平田市で多みられる。また、出雲市から湖陵町への移動もみられる。出雲地区以外の市町村から出雲地区への入超は1,057人

2市5町間移動者数(転出 - 転入)

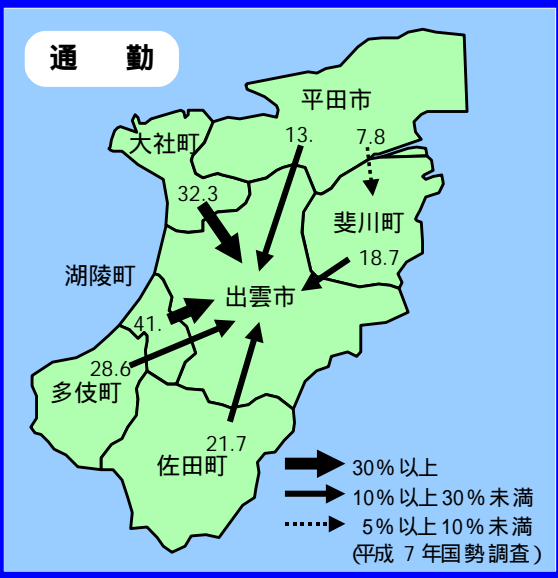
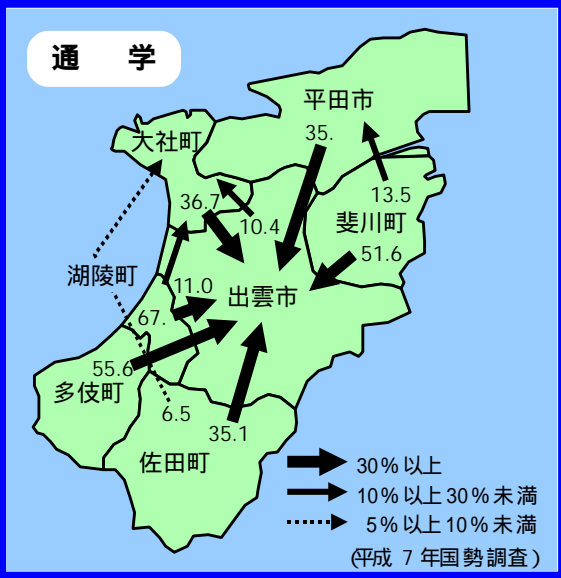


# 市町間移動

《出雲市を中心とした動態が顕著にみられ、2市5町間の交流が活発なことがうかがえる》

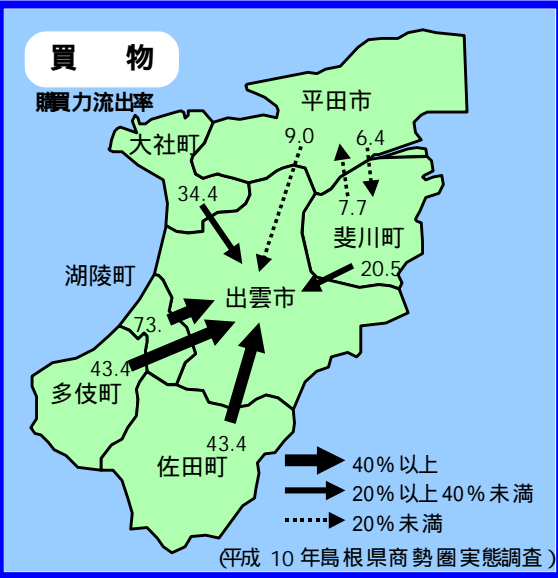
**【通学の状況（15歳以上）】**  
 出雲市に高校・大学などが集中しているため、出雲市への流入が顕著。特に、斐川町・多伎町・湖陵町は高校がないため、50%以上が出雲市へ通学。

**【通勤の状況】**  
 佐田町・多伎町・湖陵町・大社町から出雲市へ20%以上が通勤。特に湖陵町・大社町は30%以上と高い。



**【通院の状況】**  
 ・出雲市に島根医科大学・県立中央病院など医療機関が集中しているため、1市4町及び雲南地区からの通院が集中している。斐川町から平田市への通院みられる。

**【買物の状況】**  
 ・2市5町間では、佐田町・多伎町・湖陵町・大社町から出雲市への買物の動向が顕著。特に湖陵町からは70%以上と高い。



## 広域行政の現

### 一部事務組合（2市5町に関わるもの）

#### 【全体】

- 可燃ゴミ、し尿などの日常生活に密着した事業が共同処理されている。
- 合併想定・・・法人格が消滅するため、当該組合の脱退、加入の手続きや規約変更の手続きについて関係自治体との協議が必要。

#### 〔可燃ゴミ〕

- 合併想定・・・現在、平田市、斐川町、佐田町は、新処理場の事業費負担のみで、可燃ゴミの処理は、平田市、佐田町は単独、斐川町は、宍道町との一部事務組合により処理を行っている。平成14年12月からの新処理場への2市5町の一元化に伴い、斐川町は、宍道町斐川町環境衛生組合の取り扱いについて宍道町との協議が生ずる。

#### 〔斎場〕

- 合併想定・・・出雲市と平田市の2箇所に火葬場を持つことになる。平田市斐川町火葬場組合については、新市に包括されることになるが、利用規程等についての調整が必要。

#### 〔常備消防〕

- 平田市、大社町は単独での常備消防。他市町は広域消防組合により共同処理。
- 合併想定・・・全体統合のためには、調整が必要。

#### 〔水道〕

- 合併想定・・・斐川町のみが宍道町との企業団として運営されているため協議・調整が必要。

#### 〔水利〕

- 合併想定・・・水利組合の構成市町がすべて含まれるため、新市に包括。

### 【一部事務組合の状況】

種 別	名 称	職員数	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町
可燃ゴミ/し尿処理 休日診療/伝染病棟 広域市町村圏事業	出雲市外6市町 広域事務組合	32							
可燃ゴミ	宍道町斐川町 環境衛生組合	1							
斎 場	平田市斐川町 火葬場組合	4							
常備消防	出雲市外4町 広域消防組合	119							
水 道	斐川町宍道町 水道企業団	11							
水 利	出雲市外3市町 斐伊川水系水利組合	1							

注) 職員数については、2市5町関係職員のみ登載。

(資料：各市町データ)

### その他の連携組織

- 2市5町に関わる協議会、同盟会、連絡会などの組織は、70以上。(例：出雲地区視聴覚ライブラリー協議会、出雲広域圏拠点港整備促進期成同盟会、出雲路広域観光連絡協議会他)
- 2市5町のみで構成している組織は、15以上。(例：出雲圏域介護認定審査会、出雲圏域介護認定審査会、出雲地区市町村税協議会他)

## 行政制度の比較でわかる 2 市 5 町の違い

【総合振興計画】： 各市町とも個性豊かなまちづくりが目標とされている。

	キャッチフレーズ	将来の都市像
出雲市	心豊かな郷土 21世紀都市・出雲の創造	安心と潤いの中で生きがいを持って心豊かに生きられる健康文化都市
平田市	お寺ともみじと海のまち	人と自然と産業がおりなす豊かで活力ある都市 ひらた
斐川町	明るく創造的な町、人が主役の斐川町	人が主役、町が元気。くらしの夢づくり/くらしの体力づくり/町の体力づくり/まちの知力づくり
佐田町	「神話の源郷佐田町」「いきいき緑と夢とふれあいの町」	住民一人ひとりが主役となる町
多伎町	海光り、ひと輝くまち ~ 安心生活タウン たき ~	人がのびのび活躍できるまち/こころ豊かな健康文化のまち/生涯を安心して暮らせるまち/交流産業のまち
湖陵町	ぬくもりのコンフォートタウン	キラリと光る個性を持ったまちの創造
大社町	恋するまち大社	彩りゆたかな結の郷 住んでよく訪ねて楽しい恋するまち大社

【職員数等】： 職員 1 人あたりの市町民数は、自治体規模と反比例の傾向がある。  
職員の平均年齢は、概ね 40 歳前後である。

	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町
定 員(人)	600	527	216	74	54	63	192
現 員 数(人)	600	475	216	74	54	62	188
職員一人あたりの市町民数(人)	147	112	128	64	79	94	103
職員平均年齢	37.3	37.7	39.6	36.1	39.1	39.2	41.5
平均給料月額(円)	333,910	306,085	340,800	302,300	321,246	322,300	354,777
初任給月額：高校卒(円)	141,900	141,900	141,900	141,900	141,900	141,900	141,900
初任給月額：大学卒(円)	163,800	174,400	174,400	174,400	174,400	174,400	174,400
ラスパイルズ指数	104.3	98.9	103.7	100.5	98.8	98.5	103.2

注 1) 定員、現況数には、平田市 消防、病院の職員数、大社町 消防の職員数を含む。

注 2) 職員 1 人あたりの市町民数は、消防、病院の職員を除いて算出。(資料：H13.4.1 現在 各市町条例他データ)

【広報・広聴】： 広報紙は、出雲市が週報、平田市が月 2 回、その他の町は、月 1 回発行。  
公聴制度は、様々な方法で実施されている。

	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町
市町広報紙発行状況	週報	月 2 回	月 1 回	月 1 回	月 1 回	月 1 回	隔週報月報
広聴制度	地区活性化フォーラム インターネット市長の部屋、意見箱	市政モニター市政座談会 市政に対する意見箱(12か所)	町長ふれあいレター まちづくり懇談会 まちづくり会議	町政座談会	行政座談会	町政モニターまちづくり懇談会	女性モニター郷づくり座談会 町長直通 fax
情報公開条例	H8.7 施行	H11.4 施行	H13.4 施行	H14.4 予定	なし	なし	H12.10 施行

【消防】： 常備消防は、平田市、大社町は、単独。その他は一部事務組合で対応しており、合併想定では、サービス水準を低下させない統合、再配置が必要。

		出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町
常備消防	職 員 数	広域	38人	広域	広域	広域	広域	28人
	住民 1 人当負担額	8,145 円	9,119 円	10,120 円	18,934 円	18,610 円	15,496 円	11,636 円
消防団	組 織 数	16 分団 37 部	11 分団 43 部	4 分団 24 部	4 分団 13 班	3 分団 9 部	2 分団 6 部	6 分団 21 班
	団 員 数	535人	487人	255人	180人	125人	125人	279人

(資料：各市町データ)

【上水道等】： 各市町とも上水道あるいは、簡易水道方式により対応。水道料金もかなりの格差がある。

項目	単位	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	計
事業主体		出雲市	平田市	斐川町六道町水道企業団	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	
行政区域内総人口	人	87,494	28,918	26,951	4,550	4,171	5,843	15,991	173,918
普及率	%	98.7	98.3	99.1	96.0	97.8	95.9	81.8	96.9
上水道	箇所	1	1	1				1	4
現在給水人口	人	86,260	22,700	25,964				11,862	146,786
加入料金 20mm	円	103,950	136,500	68,250				94,500	
水道料金 10	円	1,067	1,328	1,251				2,183	
20	円	2,222	2,745	2,574				4,220	
簡易水道	箇所	1	9	2	4	1	2	2	21
現在給水人口	人		5,723	754	4,366	4,078	5,606	1,225	21,752
加入料金 13mm	円	49,350	52,500	48,000	52,500	69,300	63,000	52,500	
20mm	円	103,950	136,500	95,000	126,000	173,250	136,500	94,500	
水道料金 10	円	1,067	1,328	1,251	1,780	1,176	1,340	1,675	日御碕 1,278 鷺浦
20	円	2,222	2,745	2,574	3,670	2,488	2,700	3,489	日御碕 2,525 鷺浦
専用水道給水人口	箇所 人	1 69							1 69
合計給水人口	箇所 人	3 86,329	10 28,423	3 26,718	4 4,366	1 4,078	2 5,606	3 13,087	26 168,607
料金改定予定	有無					有 H15.4			
小規模水道施設 給水人口	箇所	6	2			1	1		10
工業用水道	箇所			1					

資料：県薬事衛生課「平成12年度島根県の水道」(平成13年3月31日現在)他

【下水道等】： 各市町とも公共下水道、集落排水整備事業により普及を図っている。普及率、受益者負担金、使用料金とも格差がある。

項目	単位	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	計
処理人口	人	26,285	13,104	14,222	3,793	3,959	2,410	5,592	69,365
普及率	%	30.4	55.2	65.3	79.0	92.8	51.8	35.9	
公共下水道	%	21.1	26.8	30.9		50.4	41.2	34.0	
農業集落排水	%	3.6	7.5	23.3	73.3	35.5			
漁業集落排水	%		8.5			4.9			
合併浄化槽等	%	5.7	12.4	11.2	5.7	2.0	10.6	1.9	
受益者負担金 公共下水道	円/m <sup>2</sup>	400	420	420		1戸当 150千円	420	400	
集落排水事業		400円× 宅地面積	対象事業 費×5%÷ 受益戸数	対象事業 費×12%÷ 受益戸数	1戸当 241.5千円	1戸当 150千円			
使用料金 20 30	円	2,310 3,832	2,152 3,622	2,100 3,622	基本料金 (2,000 + 世帯員数× 650)×1.05	2,509 3,874	2,310 3,937	2,257 3,727	人頭制料 金あり
料金改定予定	有無		有 H14		有 H14	有 H14		有 H15	
合併浄化槽設置 補助金 一般設置 5人・7人・10人槽	千円 5人 7人 10人	354 411 519	354 411 519	354 411 519	設置工事費 から 241.5千円 を控除した 額 H14制 度改正予定	設置工事 費から 150千円 を控除し た額	354 411 519	354 411 519	

(資料：各市町条例等)

【道路】： 県道の改良率、市町道の改良率・舗装率に格差がある。

調査項目	単位	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	計
一般国道実延長	m	39,037	13,868	9,204	16,906	9,134	4,389	9,050	101,588
県道実延長	m	73,011	66,761	47,046	66,193	12,992	10,585	33,081	309,669
a) 改良率	%	84.7%	66.4%	83.8%	42.2%	62.2%	78.7%	78.9%	
b) 舗装率	%	100.0%	100.0%	100.0%	96.7%	100.0%	100.0%	100.0%	
市町道路実延長	m	1,033,871	455,280	725,931	163,174	102,330	84,153	341,770	
a) 改良率	%	47.4%	42.8%	54.3%	32.9%	60.1%	55.6%	22.3%	
b) 舗装率	%	76.7%	74.0%	61.0%	78.6%	71.2%	89.2%	46.7%	
c) 農道実延長	m	36,890	153,024	16,609	54,136	24,649	12,734	460	
d) 林道実延長	m	58,533	17,760	なし	54,903	17,423	8,948	1,002	

(資料：県道路整備課「道路等の現況調査」、各市町データ)

【公営住宅】： 各市町により整備状況及び将来計画に格差がある。

調査項目	単位	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	計
公営住宅戸数	戸	639	290	172	25	153	120	94	1493
住宅計画戸数 (2005年まで)	戸	H15 40戸 H17 40戸	計画なし	48	6	若者向け 特公賃 24	120	88	262

(資料：各市町データ)

【地籍調査】： 各市町の進捗率には大きな格差がある。

調査項目	単位	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町
進捗率	%	30.13%	7.00%	79.07%	27.01%	100.00%	100.00%	58.70%

(資料：各市町データ)

【幼稚園・学校】： 幼・小・中とも各市町の地理等実情により配置にバラツキがある。また、再編についても検討されている。

		出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町
幼稚園	設置数	16	3	4	0	3	2	5
	定員(人)	設定なし	590	設定なし		240	240	630
	園児数(人)	1,126	465	215		49	60	235
小学校	学校数	14	13	4	2	2	2	5
	学級数	208	89	62	14	14	14	45
	児童数(人)	5,646	1,808	1,809	283	245	322	928
	学校校区選択制度	有	有	なし	なし	なし	なし	有
中学校	学校数	7	4	2	1	1	2	1
	学級数	101	32	31	7	7	9	16
	生徒数(人)	3,068	1,022	1,009	193	140	188	519
高校	学校数	6	1	0	1	0	0	1

(資料：学校基本調査、各市町データ)

【公民館】： 機能、職員配置、職員の身分等市町により制度の違いがある。

	設置数	職員の配置(直営、委託の別)
出雲市	17	館長 17 人(市非常勤職員)、その他職員 49 人(公民館協議会の雇用)市補助金
平田市	12	館長 11 人(非常勤特別職)、主事、主事補(社会教育関係団体連絡協議会)(公民館の雇用)
斐川町	8	館長 7 人(町の非常勤特別職)、主事 公民館協議会常勤 7 人、主事補公民館協議会非常勤 7 人
佐田町	6	中央公民館館長(教育長兼務)、主事(教育委員会職員兼務)、地区公民館館長 5 人(町長任命非常勤職員)、主事 5 人(館長任命非常勤職員)
多伎町	1	教委兼務
湖陵町	1	教委兼務
大社町	5	館長 5 人(町非常勤職員)、主事 4 人(大社町生涯学習推進協議会職員)

(資料：各市町データ)

【議員数・任期】： 改選は、平成 15 年 4 月の統一地方選が中心であるが、その他も 3 町ある。

	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町
現員数(条例定数)	28(28)	21(22)	20(20)	14(14)	12(12)	14(14)	18(18)
任期	H15.4.25	H15.2.11	H15.5.14	H16.7.2	H16.10.29	H15.5.9	H17.12.23

合併した場合の議員の法定数は 34 人。

(資料：各市町データ)



## 財政の現状

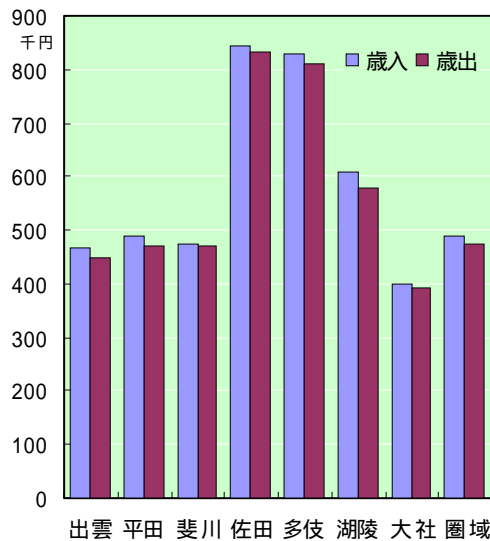
各市町の予算規模は、人口規模に応じ30億円台から400億円と相当の格差がある。  
主要財政指標、地方債の現在高の現状から各市町とも財政運営の厳しさがうかがえる。

### 【平成12年度普通会計決算の状況】

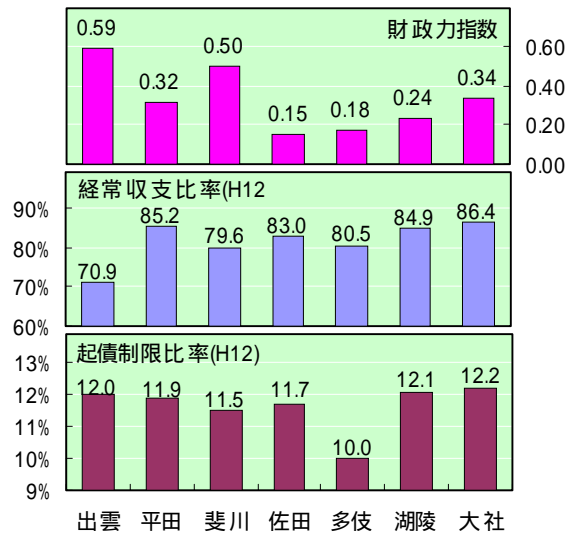
単位：千円

		出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	計
平成12年度 決算額	歳入	40,689,569	14,233,711	12,748,82	3,857,746	3,488,963	3,531,272	6,374,951	84,925,037
	歳出	39,177,089	13,668,432	12,630,69	3,801,090	3,421,079	3,355,083	6,268,308	82,321,771

12年度普通会計決算  
～住民1人あたりの歳入歳出～



主要財政指標



注) 財政力指数：財政の健全性をあらわす指数で、指数が高いほど財政力が高い。1を越えると交付税不交付団体。  
経常収支比率：財政構造の弾力性を示す指標。人件費、公債費などの固定経費割合を示し、低いほど良い。健全ラインは市で80%、町で75%と言われている。  
起債制限比率：公債費（市町村の借入金の返済額）の負担状況を示す指標。低いほど良い。10%が警戒ライン、15%が危険ラインと言われている。

### 【積立金、地方債、債務負担】

単位：千円

	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	計
積立金現在高	5,557,379	3,505,113	2,759,700	1,163,142	4,340,599	787,692	2,213,084	20,326,709
住民1人あたり現在高	64	121	103	254	1,030	136	138	117
H12 地方債現在高	52,732,411	15,775,12	15,730,04	5,817,974	7,687,457	5,003,017	8,295,000	111,041,02
住民1人あたり現在	604	544	587	1,271	1,824	861	518	639
地方債現在高比率	281.4%	203.3%	219.5%	247.6%	357.4%	251.7%	210.4%	251.8%

注) 地方債現在高比率：財政の健全性をあらわす指数で、200%未満が健全、200～250%未満が準健全、250～300%未満が危険、300%以上が警戒水準と言われている。

### 【特別会計】

単位：千円

	出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	計
会計数	15	10	10	7	5	5	8	60
普通会計からの繰入金	2,457,111	1,454,505	1,181,933	365,617	141,481	297,381	669,515	6,567,543
地方債残高	23,638,024	14,897,325	14,485,897	4,699,851	2,671,342	2,305,522	4,086,053	66,784,014
住民1人あたり	271	514	540	1,027	634	397	255	384

## 負担・サービス

【税(料)負担】： 制度、税率、額等同一の設定がみられるものの、格差も生じている。  
 【手数料】： 同一の設定がみられるものの、格差も生じている。

### 【税金・保険料】

		出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町	
市町民税	個人	均等割	2,500円	2,000円					
		所得割	200万以下 3% 200万超 8% 700万超 10%						
	法人	均等割	6万～360万円(資本等の金額により9段階)						
		法人税割	14.7%						
固定資産税率		1.50%	1.55%	1.50%	1.40%				
特別土地保有税	保有分	取得価額の1.4%							
	取得分	取得価額の3.0%							
都市計画税		0.10%	なし						
市町村たばこ税	旧3級品	1,266円							
	その他	2,668円							
車軽自動車税	原動機付自転車	1,200円							
	四輪乗用(自)	8,600円							
	四輪乗用(営)	6,600円							
入湯税		150円			なし		150円		
国民健康保険料(料)	所得割	医療分	4.90%	6.19%	4.69%	5.18%	5.30%	6.69%	5.20%
		介護分	0.60%	0.70%	0.54%	0.68%	0.68%	0.83%	0.68%
	資産割	医療分	21.00%	13.90%	21.66%	32.04%	36.93%	46.73%	29.80%
		介護分	2.80%	2.33%	3.76%	7.36%	8.68%	8.83%	6.08%
	均等割	医療分	25,900円	28,000円	28,694円	25,100円	24,440円	27,873円	28,800円
		介護分	5,800円	6,000円	5,882円	6,300円	5,910円	6,280円	5,900円
平等割	医療分	24,000円	26,000円	26,332円	19,400円	20,000円	24,556円	24,000円	
	介護分	3,200円	3,800円	3,594円	3,300円	3,740円	3,633円	4,900円	
介護保険料	基準額		35,700円	32,880円	32,580円	35,760円	35,520円	35,760円	33,276円
	段階別	1段階	17,800円	16,440円	16,284円	17,880円	17,760円	17,880円	16,638円
		2段階	26,800円	24,660円	24,432円	26,820円	26,640円	26,820円	24,957円
		3段階	35,700円	32,880円	32,580円	35,760円	35,520円	35,760円	33,276円
		4段階	44,600円	41,100円	40,716円	44,700円	44,400円	44,700円	41,595円
		5段階	53,600円	49,320円	48,864円	53,640円	53,280円	53,640円	49,914円

### 【手数料・保育料・学校給食費】

		出雲市	平田市	斐川町	佐田町	多伎町	湖陵町	大社町
督促手数料(1期毎)		80円	100円					
納税貯蓄組合	法定組合数	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	任意の組合数	546	なし	285	H14.3廃止	75	59	なし
各種納付等報奨制度	制度の有無	有						
	根拠法令	税条例						
	前納報奨金(納税額の)	0.5%/月 上限5万円	0.5%/月 上限10万円	0.5%/月 上限5万円	0.3%/月 上限5万円	0.5%/月 上限5万円	1.0%/月 上限5万円	0.5%/月 上限5万円
手数料	戸籍謄本・抄本	450円						
	印鑑証明(1件)	200円	300円		200円			
	住民票(1件)	200円	300円		200円			
	税務証明(1件)	200円	300円		200円			
保育料	3歳未満	0～53,800	0～38,000	0～42,000	0～49,000	0～51,000	0～51,000	0～53,000
	3歳	0～40,800	0～38,000	0～37,000	0～41,500	0～44,000	0～44,000	0～38,000
	4歳以上	0～37,300	0～38,000	0～35,000	0～35,000	0～36,000	0～37,500	0～32,000
学校給食費	幼稚園	257円	232円	215円		195円	198円	212円
	小学校	236円	264円	268円	227円	231円	229円	251円
	中学校	287円	320円	329円	288円	283円	280円	310円

# 合併を想定した財政効果の推計

## 《推計期間、設定条件等》

- 合併年度は、平成 16 年度。平成 17 年度～平成 31 年度の 15 年間の積算。
- 人件費のうち一般職員の削減目標(合併後 190 人)は、類似団体の平均値を用い設定した。また、物件費・補助費についても同様に類似団体の平均値を用いた。

合併した場合、新たな財源として確保が可能となる額

(歳出) 23,715 百万円 + (歳入) 5,914 百万円 = **29,629 百万円**

	内 訳	効 果 ( 額 )
歳 出	人件費の削減	16,175 百万円
	・ 特別職(市長、助役、収入役、教育長)	27 人 4 人
	年間削減額	274 百万円
	15 年間の積算	4,110 百万円
	・ 市町議会議員	128 人 34 人
	年間削減額	378 百万円
	15 年間の積算	4,166 百万円
	( 合併特例法による在任特例 2 年間を含む)	
	・ 一般職員	1,312 人 1,122 人
	190 人の削減目標を設定し、退職者の 3/5 を新規採用する (H17 年度～H30 年度)	
15 年間の積算	7,899 百万円	
物件費・補助費等	7,540 百万円	
・ 年間削減額	580 百万円	
15 年間の積算	7,540 百万円	
( 5 年間の調整期間分を含む)		
	歳 出 計	23,715 百万円
歳 入	合併特例債の振替効果 ( 通常の起債事業を合併特例法により認められるまちづくり事業に振替えた場合の効果)	8,504 百万円
	15 年間の積算	8,504 百万円
	普通交付税の算定替 ( 合併特例法により合併後 10 年間は、合併前の各市町の交付税額が確保されその後 5 年間は段階的に調整される)	6,310 百万円
	15 年間の積算	6,310 百万円
	特別交付税、合併補助金等 (合併に伴い国・県から特別交付税、合併補助金等が措置される。)	3,720 百万円
	特別交付税	1,100 百万円程度
国・県補助金	2,620 百万円	
	歳 入 計	5,914 百万円